

2 1 5 - 1 0 7 7

令和 3 年 5 月 2 1 日

宮崎県教育委員会 殿

宮崎県知事 河 野 俊 嗣



県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について（照会）

このことについて、下記のとおり議案を作成したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定により意見を求めます。

記

- 1 議案名
議案第 1 号 令和 3 年度宮崎県一般会計補正予算（第 4 号）
- 2 提出する県議会
令和 3 年 5 月県議会臨時会

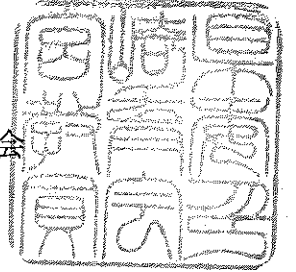
（文書取扱 財政課）

0150-1099

令和3年5月21日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

宮崎県教育委員会



県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について (回答)

令和3年5月21日付け215-1077で照会のあった標記については、
異議ありません。

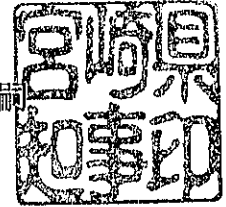
(文書取扱 教育庁教育政策課)

215-1089

令和3年5月28日

宮崎県教育委員会 殿

宮崎県知事 河野 俊



県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について（照会）

このことについて、下記のとおり議案を作成したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により意見を求めます。

記

1 議案名

議案第1号 令和3年度宮崎県一般会計補正予算（第6号）

議案第13号 工事請負契約の締結について

議案第18号 民事訴訟事件の和解及び損害賠償の額の決定について

2 提出する県議会

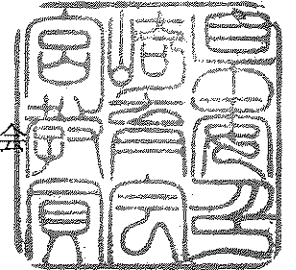
令和3年6月県議会定例会

（文書取扱 財政課）

0150-1116
令和3年6月1日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

宮崎県教育委員会



県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について（回答）

令和3年5月28日付け215-1089で照会のあった標記については、
異議ありません。

（文書取扱 教育庁教育政策課）

(5月臨時会:議案第1号)

令和3年度宮崎県一般会計補正予算(第4号)

【単位:千円】

会計	所 属	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般 会 計	教 育 政 策 課	0	3,167,223	3,167,223
	財 務 福 利 課	0	4,282,599	4,282,599
	高 校 教 育 課	0	3,753,819	3,753,819
	義 務 教 育 課	0	143,488	143,488
	特別支援教育課	0	465,192	465,192
	教 職 員 課	0	94,488,114	94,488,114
	生 涯 学 習 課	0	562,051	562,051
	ス ポ ー ツ 振 興 課	16,000	1,476,724	1,492,724
	文 化 財 課	0	476,563	476,563
	人 権 同 和 教 育 課	0	127,100	127,100
	合 計		16,000	108,942,873
特 別 会 計	財 務 福 利 課 (県立学校実習事業)	0	216,341	216,341
	財 務 福 利 課 (育英資金)	0	3,092,892	3,092,892
	合 計	0	3,309,233	3,309,233
総 計		16,000	112,252,106	112,268,106

⑧ 全九州高校総体に参加する選手等へのPCR検査事業

スポーツ振興課

1 事業の目的・背景

九州8県で分散して開催される全九州高校総体において、県代表として出場する選手等を対象に、PCR検査を実施する。

2 事業の概要

(1) 予算額 16,000千円

(2) 財源 全額国庫支出金

(3) 事業期間 令和3年度

(4) 事業内容

全九州高校総体に参加する選手等（約1,600人）に対し、大会終了後、PCR検査を実施する。

3 事業効果

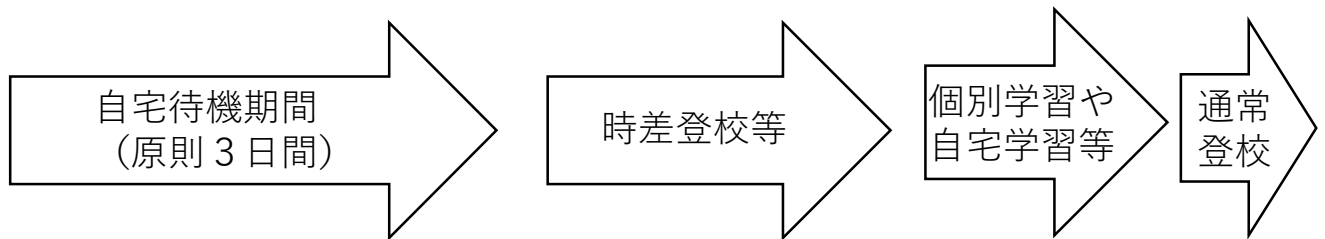
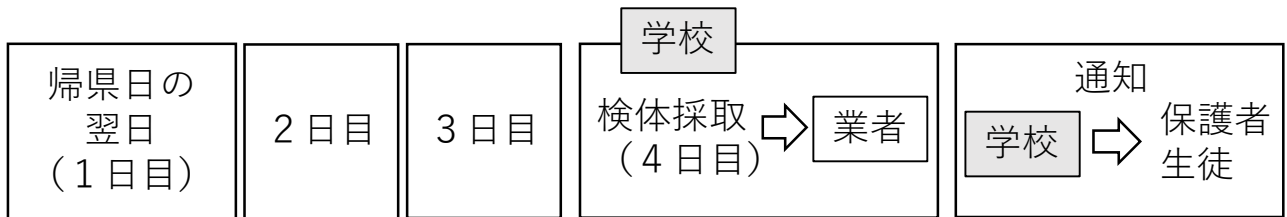
(1) 感染拡大防止を図るとともに、参加した選手等の感染に対する不安を和らげることが、その後の安心・安全な学校生活につながる。

(2) 全九州高校総体への参加は、入試等に活用できる競技成績を残す機会となり、生徒の進路保障につながることを期待できる。

全九州高校総体に参加した選手等を対象としたPCR検査の基本的な流れ

県外会場

対象者：選手・監督等・引率教諭等・競技役員・運営役員

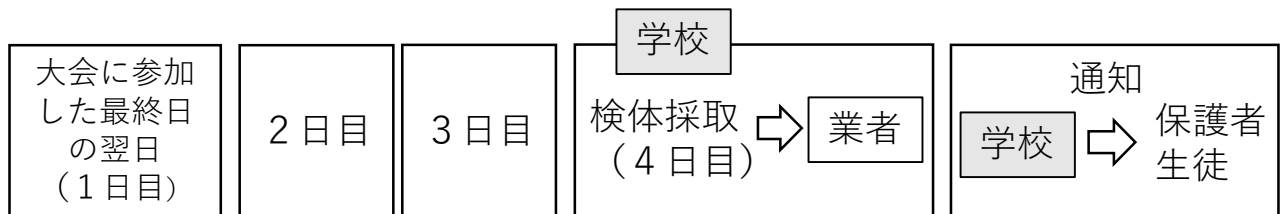


* オンライン等による学習保障

陰性確認後、通常登校

県内会場

対象者：選手・監督等・引率教諭等・競技役員・運営役員・補助員



(6月定例会:議案第1号)

令和3年度宮崎県一般会計補正予算(第6号)

【単位:千円】

会計	所 属	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般 会 計	教 育 政 策 課	269,618	3,167,223	3,436,841
	財 務 福 利 課	0	4,282,599	4,282,599
	高 校 教 育 課	0	3,753,819	3,753,819
	義 務 教 育 課	0	143,488	143,488
	特別支援教育課	19,075	465,192	484,267
	教 職 員 課	0	94,488,114	94,488,114
	生 涯 学 習 課	4,860	562,051	566,911
	ス ポ ー ツ 振 興 課	1,300	1,492,724	1,494,024
	文 化 財 課	11,646	476,563	488,209
	人権同和教育課	36,889	127,100	163,989
	合 計	343,388	108,958,873	109,302,261
特 別 会 計	財 務 福 利 課 (県立学校実習事業)	0	216,341	216,341
	財 務 福 利 課 (育英資金)	0	3,092,892	3,092,892
	合 計	0	3,309,233	3,309,233
総 計		343,388	112,268,106	112,611,494

⑧ 「教育の情報化」緊急対策事業

教育政策課

1 事業の目的・背景

感染症拡大や災害発生などの緊急事態において必要な教育活動を継続するとともに、Society5.0 時代を生きる子どもたちに、個別最適化され、創造性を育む学びを実現するために、教育委員会及び県立学校における情報に関する人材育成と環境整備を行う。

2 事業の概要

(1) 予算額 269,618千円

(2) 財源 全額国庫支出金

(3) 事業期間 令和3年度

(4) 事業内容

- ① 教育の情報化推進に係る人材育成事業（17,801千円）
 - ア 校内推進リーダーの育成
 - イ 教育庁内のデジタル化に係る人材育成
 - ウ 教員のICT活用指導力の育成
 - エ 教員のサポート機能の強化
- ② 教育の情報化推進に係る環境整備事業（251,817千円）
 - ア 組織内情報化推進に係る端末整備
 - イ 教科指導の充実に係る端末整備
 - ウ オンライン会議の充実に係る環境整備
 - エ 高等学校段階の1人1台端末整備の検証

3 事業効果

ICT教育推進リーダーの育成、指導主事等によるICTを活用した授業設計等の支援、教員用端末及びオンライン会議に係る環境整備等を行うことにより、全ての県立学校において、どのような緊急事態においても学びの保障が継続されるとともに、日々の教育活動においても「誰1人取り残さない」個別最適で対話的・協働的な学びの実現につながる。

「指導者の人材育成」と「指導者用の端末整備」を行います！

県立学校

ICT教育推進リーダー

(①-ア、②-ア)

- ICT教育推進リーダー連絡協議会の開催



- ◆リーダー育成
- ◆ネットワークづくり

- ICT教育に関する成果報告会の開催



- ◆県内モデル校の取組
- ◆県外の先進事例

- 専用端末の整備（各校1台ずつ）

県立学校教員

(①-ウ・エ、②-イ)

- 指導主事による支援



- ◆ICTを活用した授業設計
- ◆校内研修、教科別研修

- 学校ICT補助員の配置



- ◆特別支援学校に配置

- 専用端末の整備（1教室2台ずつ）

県教育委員会

ICT担当指導主事

(①-ア・イ、②-ア)

- 教育の情報化に係る総合調整等



- ◆ICT教育推進リーダー連絡協議会
- ◆教育の情報化に向けた企画等

- 教育庁内のデジタル化推進に係る総合調整



- ◆ワーキンググループの設置
- ◆デジタル化に向けた企画等

- 専用端末の整備（1人1台ずつ）

教科担当指導主事

(①-ウ、②-イ)

- ICT支援員によるサポート



- ◆ICT関係企業等に委託
- ◆定期的な研修会等の開催

- 校内研修等の支援



- ◆ICTを活用した授業設計
- ◆校内研修、教科別研修

- 専用端末の整備（1人1台ずつ）

各県立学校に「オンライン専用会議室」を設置します！



(②-ウ)

- オンライン会議に必要な機器の整備（カメラ、マイク、PC）
- オンライン専用会議室等の空調施設整備
- オンライン会議用システム



生徒用端末の1人1台端末整備に係る検証を行います！

現在

3人に1台の環境整備を達成



今後

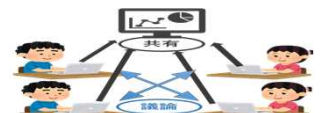
1人に1台の環境整備を目標



(②-エ)

- 私物端末の利用（BYOD）についての検証
- モデル校（8校）による検証
（大宮、宮崎西、宮崎南、佐土原、本庄、飯野、五ヶ瀬中等、児湯るびなす）

- ICT支援員によるサポート
- 担当指導主事によるサポート



特別支援学校スクールバス感染症対策事業

特別支援教育課

1 事業の目的・背景

新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図るため、特別支援学校にスクールバスを導入する。

2 事業の概要

(1) 予算額 19,075千円

(2) 財源 全額国庫支出金

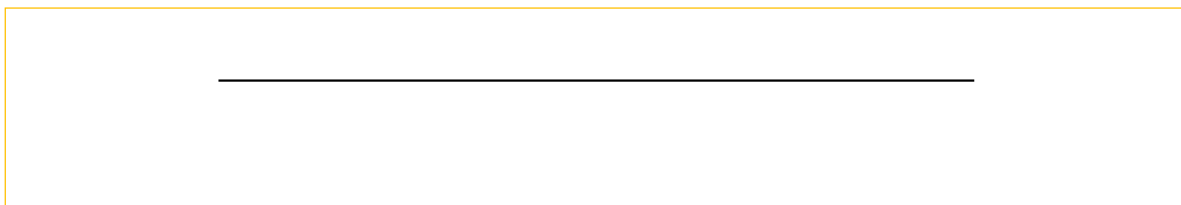
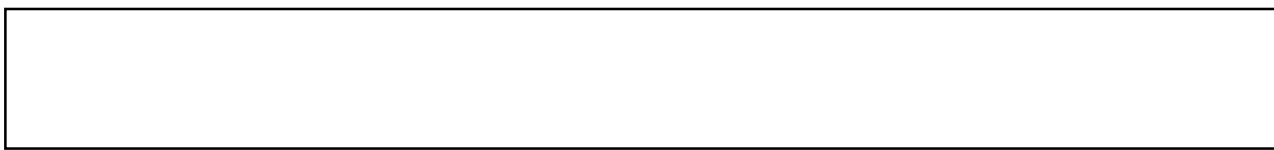
(3) 事業期間 令和3年度

(4) 事業内容

スクールバス（中型リフト付き）の購入（2台）

3 事業効果

スクールバスを委託運行する学校に県有バスを導入することで、感染による重症化リスクの高い特別支援学校の児童生徒の安全安心な登校環境を整えることができる。



è ÓÆÉ X Î · y · Ø

